

**製品名: AAK1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06377**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	94kDa

**抗原情報**

遺伝子名	AAK1
別名	AAK1; KIAA1048; AP2-associated protein kinase 1; Adaptor-associated kinase 1
遺伝子 ID	22848.0
SwissProt ID	Q2M2I8
免疫原	抗血清はヒト AAK1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 271-320

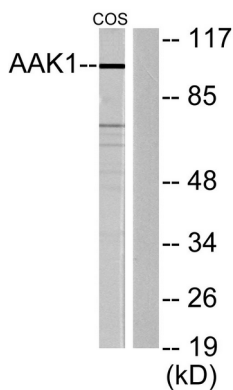
**背景**

アダプター関連タンパク質複合体 2 (AP-2 複合体) は、受容体を介したエンドサイトーシスにおいて、クラスリンの集合を誘導し、膜結合型受容体と相互作用し、エンドサイトーシス補助因子をリクルートする機能を果たす。この遺伝子は、Ser/Thr タンパク質キ

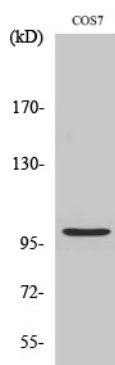
ナーゼのSNF1サブファミリーに属するタンパク質をコードする。このタンパク質はAP-2複合体のサブユニットと相互作用し、リン酸化することで、膜結合型受容体に存在する選別シグナルへのAP-2の結合、そしてそれに続く受容体エンドサイトーシスを促進する。AP-2のキナーゼ活性はクラスリンによって刺激される。選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されているが、その生物学的妥当性は未だ確立されていない。[RefSeq提供、2008年7月], 触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。 , 酵素制御: クラスリンによって刺激される。 , 機能: アダプタータンパク質複合体2 (AP-2) のAP2M1/ $\mu$ 2サブユニットをリン酸化。クラスリンを介したエンドサイトーシスの調節に関与している可能性がある。 , PTM: 自己リン酸化される。 , 類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。Ser/Thrタンパク質キナーゼファミリー。 , 類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。 , 細胞内局在: 細胞膜上のクラスリン被覆ピットに存在する場合に活性を示す。 , サブユニット:  $\alpha$ -アダプチンおよびAP-2と相互作用する。 ,

## 研究分野

## 画像データ



COS7細胞ライセートのAAK1抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



AAK1ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析